

第3回木更津市庁舎整備事業者選定審査委員会 議事概要

1. 日時 令和3年12月13日(月) 午後1時00分～午後4時00分
2. 場所 木更津市役所 駅前庁舎8階 防災室・会議室
3. 委員 北野委員長、八木委員、湯谷委員、関委員、
田中副委員長、重城委員、伊藤委員
4. 事務局 市長公室：栗田特命担当部長、渡辺市長公室次長
公共施設マネジメント課：品川課長、萱野補佐、勝畑主任技師、鴫田主任主事
5. 議題 (1) プレゼンテーション審査について
6. 公開又は非公開の別
議題(1) 非公開
7. 非公開の場合の理由
木更津市審議会等の会議の公開に関する条例第5条第2号に該当
8. 議事録(要旨)
議題(1) プレゼンテーション審査について

事務局説明

プレゼンテーションの審査方法及び評価基準などの説明を行う。

木更津駅周辺事業者説明

計画書の内容などの説明を行う。

・主な意見及び質疑応答

【委員】

木更津市においては、駅前から港へ人を回遊させる取り組みが進められている。そのなかで、本施設が整備された場合、駅前だけで市民の需要が完結してしまうリスクも懸念されるが、いかがか。

【事業者】

庁舎棟と住宅棟の低層階に一連の商業店舗を配し、地域活性化のイベントを開催することで、港へ向かう賑わいの発信地としての効果が期待できる。また、木更津駅前再開発の具体事例として、他の事業者のモデルケースになると考えている。

【委員】

住宅棟との複合施設とした理由は。

【事業者】

駅直結の住宅は需要が高く、整備することで駅前の居住人口の増加が見込まれることから、中心市街地の活性化に寄与するものと認識している。

【委員】

本計画において、オーガニックシティという考え方はどう反映されているか。

【事業者】

施設全体として、オーガニックカラーの採用や、海・砂浜といった自然をモチーフとしたデザインにしている。

【委員】

上層階へのアクセスを見ると、下層階と完全に分離されているようだが、市民が日常的に立ち寄れる市役所機能としての提案はあるか。

【事業者】

木更津駅周辺庁舎は管理部門がメインとなるため、市民が日常的に立ち寄れる機能への配慮はしていない。ただ、議会部分については、多目的に利用できる議場を想定している。

【委員】

多目的利用が可能な議場として、具体的にどういった提案があるか。

【事業者】

机や椅子を収納できるようにし、休日には大きな空間として多目的に利用するといったものが想定される。

【委員】

経済情勢に変化した柔軟な契約を検討するとしているが、例えば用途の変更に対応できるような条項を設けるということか。

【事業者】

契約内容については、今後協議していく予定だが、いただいた意見も参考に検討していきたい。

朝日庁舎周辺事業者説明

計画書の内容などの説明を行う。

・主な意見及び質疑応答

【委員】

デジタル化が進めば、直接来庁する市民も減り、本来の市役所機能以外の部分も必要になると思われるが、既存施設にはない取り組みとしてどういった提案があるか。

【事業者】

申請受付といった機能以外にも、直接赴き相談できる場として庁舎は必要であると認識している。また、商業施設のなかに公共施設として賑わい交流拠点を整備した事例もあり、参考になると考える。

【委員】

雨水対策として地下貯留槽を計画しているが、ここに貯めた水の利活用は考えているか。

【事業者】

今まで事例がなく、現状は想定していない。地下にある水をくみ上げるコスト等を検証したうえで、雨水の再利用について今後検討していきたい。

【委員】

「超地域密着型」という言葉があるが、どういったコンセプトか。

【事業者】

小売り、サービス、行政機能が独立しているのではなく、ワンストップの利便性を

はじめ、市役所と商業が一体となることで、「市職員」の顔が見えやすくなり、相談しやすい、より安心が見える拠点を整備していきたい。

【委員】

全国で公民連携事業を展開しているなかで、庁舎が賃借して入居するというスキームは実例があるか。

【事業者】

市のサテライト施設を商業施設に設置、選挙の投票所としての場の提供、市と連携したイベントは実施事例があるが、本スキームは全国的にも前例はなく、今回の取り組み成果を他の自治体との連携事業に活かしていきたい。

【委員】

ワンストップで様々な機能を盛り込んだ施設を計画しているが、施設内で需要が完結すると、周辺商業への影響も懸念されるが、周辺事業者とはどういった連携を図っていくのか。

【事業者】

他市の事例となるが、地元商店街や周辺商業施設と共同で周遊イベントを実施し、参加者には地域ポイントを付与するといった取り組みを行っている。

【委員】

計画の中で、市の職員をターゲットとしたサービスはあるか。

【事業者】

施設全体のネットワーク環境を整備することで、商業施設内においても打ち合わせが可能になると考えられる。また、フードコート等の食事ができる場所を多く整備していく予定である。

【委員】

全体スケジュールについて、詳細を説明して欲しい。

【事業者】

庁舎棟を建設し、現庁舎からの移転を実施したのち、既存施設を解体して商業施設を建設する予定としている。

【委員】

今回、提案に参加している一番大きな意義は何か。

【事業者】

木更津市に住んでよかったと言ってもらえるような施設づくりを目指し、地域に貢献していきたいと考える。

上記、会議録を証するため下記署名する。

令和3年12月13日

木更津市庁舎整備事業者選定審査委員会委員長 北野 幸樹